

都田中学校 音楽部 へ行ってきました！

9月5日 午後4時30分、都田中学校へ行ってきました。
建物に入ると歌声が・・・
「アアアア～♪～」この声は一体・・・？

いい声が出ているなあとワクワクしながら音楽室へ向かいました。



学校の建物です

途中、階段のところでアルトがパート練習をしており、さっきの声はこれだったのかなと思いつつ音楽室の中に入ると、



メゾソプラノ、



ソプラノもパート練習
をしていました。



かなりの熱の入れ具合！

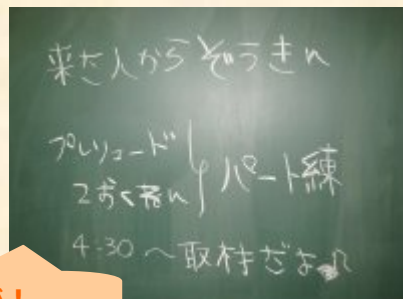


顧問の松田先生は、大学では声楽を専攻され、指導も本格的でした。「音楽部」という名前どおり、今までは合唱部でもあり、時には吹奏楽部でもあるというように音楽全般に取り組んでいたそうです。

現在のように合唱に力を入れるようになったのは3年前からだそうです。

実はその甲斐あって、今年、8月に行われた全日本合唱コンクール県大会で見事金賞を受賞し(浜松地区の中学の部では唯一の受賞校)、9月22日に行われる関東支部

大会の出場権を得ました。県大会では「声がしまっている感じだった」と反省し、「声だけではなくもっと息で持っていけるように」と、息の出し方にもこだわる練習方法を取り入れるようになったということです。



こんな指示が！

全体練習に入った途端、生徒の歌声の迫力に圧倒され、取材している私は、感動で涙が出そうでした。

「夜明けのプレリュード」という曲を歌い始めたとき、窓の外の竹林に風がさざめいて、「さわさわさわ～」と葉が重なり合う音がしました。

ちょうどクレッシェンドしていく曲調のところだったので、それらが一緒に奏でた瞬間は本当に幻想的でした。

体全部を使って想いを声に変えているその姿には、世俗的な「迷い」を超越した純粋な「ひたむきさ」があったような気がします。



ピアノを弾く先生のほうを、前のめりになりながら一身に見て歌う姿が、本当に印象的で私の脳裏を離れませんでした。

「この星は生きている～♪」「私たちは生きている～♪」と、2曲目「2億年ずつ 23回」も聴かせてもらいました。



本番さながらの迫力でした

先生の伴奏もすごかった！



次の関東支部大会でもがんばってくれると思います。心から応援しています。



(取材:本間)